

2023 とみにし 3年次通信 ⑩

令和5年3月3日
3年次主任 小川 浩

早春の候、保護者のみなさまにおかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。お子様のご卒業、まことにおめでとうございます。新型コロナウイルスに翻弄された三年間でしたが、その分、濃密な高校生活が送れたのではないのでしょうか。昨日、厳粛かつ盛大に卒業式が挙行できましたことはこの上ない喜びです。保護者のみなさまも安堵されたことと存じます。

◇3年次生のみなさん、卒業おめでとう!!

3年次生の先生方から卒業生に“はなむけの言葉”をお送りします。

【31HR】

担任 弘田 美和

「自由とは、外部からの干渉がないだけでなく、私たちに課せられている“鎖”に束縛されないことである」(アイザイア・バーリン) —世界は広いです。自分の足かせになっているものを乗り越えて、後悔しない選択ができるように…皆さんのこれからを応援しています。

副担任 上田 宏司

こんなはずではなかった。でなく。これで良かった。これが良かった。と思えるように、努力をしてください。

石の上にも三年 継続は力なりです。成功に近道無しです。また、会える日を楽しみにしています。

【32HR】

担任 四宮 博樹

- ・大人になるのを待つ必要はないということ
- ・頑張っている人は必ず誰かが助けてくれるということ
- ・高校の思い出に浸るのはまだ早く、次のステージで頑張りたいということ
- ・皆さんの意表をつく成長を間近で見られないのは少し寂しいということ

副担任 田中千寿

よく食べて、よく寝て、よく笑って、心と体を大切にしてください。
そして、元気に青春を謳歌してください。

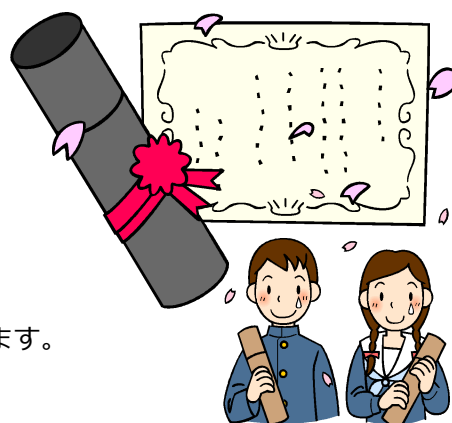
【33HR】

担任 麻植 優人

感謝の心を持って、謙虚にこれからも頑張ってください。何事にも全力で挑戦し、人としても大いに成長してくれることを祈っています。
結果が出ないとき、どういう自分でいられるか。決してあきらめない姿勢が、何かを生み出すきっかけをつくる。(イチロー)

副担任 寺内 利恵

「思い返せば、言葉を交わしたのは、あのときが最後だったな…」ということが、人生ではよくあります。大切な人と過ごす時間は、その時その時をかけがえのないものとして、愛おしんでください。3年間のどの場面を思い浮かべても、みんなのことが大好きでした。



【34HR】

担任 三好 和真

勇往邁進 — どんな困難にもひるまず、目的・目標に向かってひたすら前進すること。それぞれの道でそれぞれの未来に向かって精一杯努力し、胸を張って前進してください。応援しています。感謝!

副担任 小川 浩

卒業おめでとうございます! 卒業する日に初めてみんなで校歌を歌えたことはいい思い出になったはず。さあ、これから大海原に小さな舟をこぎ出すこととなります。この先、嵐や津波などの災害に見舞われたりするかもしれませんが、少しずつ補強しながら、幾多の困難にも負けない、びくともしない逞しい舟に改造して、世界中の海を航海してください。そして、一回りも二回りも成長して、世界を、日本を、徳島を支えていく人財になってください。

【35HR】

担任 石川 賢司

楽しい3年間だった。これからは君たちの「人生」。感謝の心を大切に。夢は叶えるものだ。

副担任 松島 優子

Stars shine brightest when the night is darkest. If the stars are hidden, we'll let moonlight guide us. If even the moon is dark, let our faces be the light that helps us find our way.

【36HR】

担任 中村 英幸

「夢は大きくもとう、小さい夢はすぐに叶ってしまうから・・・」(有馬朗人:物理学者,文部大臣(第125代))将来に向けて大きな夢を持つことは、みなさんの可能性を大きく伸ばしてくれることにつながります。実現できそうもないことでも、思い続けることで、いつしか達成できることがあると思います。そのためには、困難に負けない強い力を持ち、「凡事徹底」で頑張り続けてください。

副担任 長瀬 慎一郎

あなたたちは今人生のスタートラインに立ちました。これからは様々な選択を自分の責任で決定していかなければなりません。良くも悪くも自分次第です。「我が生涯に一片の悔いなし」と思えるような人生を送ってください。

学年付 白草 淳

「人生は自転車のようなものである。走るのをやめると転んでしまう。」

by Albert Einstein

学年付 阿部 恵子

「神様がたった一度だけ、この腕を動かしてくださるとしたら、母の肩をたたかせてもらおう」これは、星野富弘さんの言葉です。星野富弘さんは、中学校の教師でしたが、事故のため、手足の自由を失いました。口に筆をくわえて文や絵を書き、たくさんの詩画作品を作られています。皆さん、ご卒業おめでとうございます。お世話になった人たちに笑顔で感謝を伝えてください。

保護者のみなさま、3年間はアツという間でしたが、年次通信に目を通していただきありがとうございました。みなさまのご多幸とご健康を祈念し、お子様のさらなる成長と飛躍を願いつつ、年次通信を終了させていただきます。卒業式にお渡しできなかったことを深くお詫び申し上げます。